

古典は何を勉強するの？ 第三話



皆さん、こんにちは。今日は、漢文を紹介します。漢文が苦手な人もいるかもしれませんが、食わず嫌いをせずに、まず読んでくださいね。

子曰、學而不思則罔、思而不學則殆。

子曰く、學^{まな}んで思^{おも}はざれば則ち罔^{くら}し。思^{おも}うて學^{まな}ばざれば 則ち殆^{あや}し。

(『論語』)

【現代語訳】

人から知識を教わるだけで自分の頭を使って考えなければ、本当に理解したとは言えないし、かといって、自分一人であって満足していると独断に陥っちゃう。両者の兼ね合いが何とも難しいポイントだよ。

(「高校生が感動した『論語』」)

日本の古典に大きな影響を与えているのが、中国の古典です。紹介したのは、中国の古典『論語』という書物からの文章です。『論語』は、「孔子」という人の言葉や行動を弟子が書き集めたものです。

この文章の現代語訳は「高校生が感動した『論語』」という本から引用しました。『論語』には、「なるほどー!」と思うことや、悩んだ時に背中を押してくれる言葉がたくさん書かれています。紹介した本のように、高校生が「論語」を身近に感じられるような文章だけを集めた本も出ています。ネット上では「論語の人気おすすめランキング 15 選 2019 最新」に数多くの「論語」に関する本が紹介されていて、人気が出ていることがわかります。「これならおもしろく読めるかも!」と思うものも、見つけられるかもしれませんね。

